

## 令和3年度第2回島根県企業局経営計画評価委員会

日 時 令和4年1月28日(金)

14:30～16:00

場 所 島根県民会館 多目的ホール

### ○委員長

今年度も様々な分野から委員を構成させていただいております。本  
当にありがとうございます。

この委員会は、1人だけが話すのではなく、委員皆様から意見をいた  
だいて、よりよい企業局の経営の計画に反映していただけるような場  
にしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

今日はコロナ感染症防止のために、席がかなり離れていますので、  
御発言のときはマイクを使用して御意見をいただきたいと思いたすの  
で、どうぞ御協力お願いいたします。

それでは、次第に従って会議を進めます。議事1、令和3年度各事  
業の運営状況について、議事2、企業局経営計画令和3年度上期取組  
状況について、事務局から一括して説明をお願いいたします。

### 〔事務局説明〕

### ○委員長

ありがとうございました。

資料1と資料2で御説明をしていただきました。非常に丁寧な説明、  
分かりやすい説明ありがとうございました。

これにつきまして、委員の皆さんに御質問あるいは御意見等をいた  
だきたいと思っております。よろしく願いします。

### ○委員

江津では、浅利から福光間の山陰道の建設と同時に、工業団地に企

業誘致を進めていく朗報が届いており、本当にうれしい限りでございました。今日の説明の中では、新たな分譲が決定しており、また来期には大きな区域が造成されることを知り、非常にうれしく思いました。今後は工業団地の見学等もしながら、希望を持った活動ができるように、商工会議所のほうにも働きかけていけたらなということをお考えをいただきました。大変ありがとうございました。

#### ○委員長

ありがとうございました。次の委員の方をお願いします。

#### ○委員

私はSNSではフェイスブックとツイッターを利用していますが、ツイッターのほうで投稿すると、見た人がその投稿に対して意見を示すリプライや「いいね」という、いいと思った投稿に対して評価をする機能があるのですが、その機能で何か反響などがあつたか気になりました。来年度も投稿などを継続されていくというところであれば、その数なども気にしていくとさらによくなるのではないかとこのように思いました。

#### ○企業局

御意見ありがとうございます。SNSを活用した情報発信は今年度から本格的に行っています。「いいね」をつけていただくことはそれなりの数がございますけれども、登録者数が増えていないということもあり、登録者を増やしていくのが課題とっております。また、リプライで返信の機能を基本的に今受け付けていない状況です。

#### ○委員長

ありがとうございました。

それでは、ほかに御意見あればまた後でも結構でございますのでお願いいたします。

続きまして、議事3、各事業の取組状況について事務局から順次説明をお願いします。

〔事務局説および工業団地PR動画視聴〕

○委員長

ありがとうございました。ただいまの説明について、御意見、御質問をお願いします。

○委員

質問でないのですが、民間の企業の産業界、経済界も、現在は脱炭素、カーボンニュートラルに向けた取組、あとはDXと言われるデジタル技術を活用した取組、この2つが非常に大きな課題あるいは目標となっておりまして、どの企業も懸命に取り組み始めています。この時代の流れの中で、企業局は既にこの脱炭素、再生可能エネルギーにもこれまでも含めて取り組んでおり、また、DXにつきましても、資料の中にあつたドローンの活用や、IT、AI、ローカル5Gと、いろんな技術が次々と出てきますので、そうした中で業務の中身、業務フローを含められてこういったデジタル技術を活用して、さらには合理化、あるいは効率化を図っていただきたいというのが1つです。

それから、再生可能エネルギーにつきましても、発電でCO<sub>2</sub>は一切出されてないわけですから、こういったものを県民に広く周知していただいて、脱炭素においても、島根の先進的な取組というものを知っていただくというのは、すごく重要なことだというふうに思いました。以上です。

○委員長

ありがとうございました。次の委員の方をお願いします。

### ○委員

私は毎日のように江津工業団地の中を活用させていただいておりますので、我がまち江津が日々発展するっていうことは本当に喜ばしいことです。頑張っていたきたいと思います。

それと、心配していることがあり、江の川がこの4年間のうちに3年も氾濫を起こしています。それに伴い、治水工事が今度始まりますけれども、その工事で工業用水への影響があるのでしょうか。

### ○企業局

治水工事で影響することですが、川が濁っても凝集剤を入れまして水をきれいにするということをしておりますので、今のところ影響はないというふうに考えております。

### ○委員長

ありがとうございました。次の委員の方をお願いします。

### ○委員

資料を見させていただいて、今回は大変分かりやすい資料だと思いました。

### ○委員長

ありがとうございます。以前に比べると数段分かりやすい資料ですね。絵や写真もありとあらゆる角度から撮っていただいて、ドローンを使って今までは平面しかなかったのが上空からも撮っていただいて、理解がしやすいように作成してもらいありがとうございます。

それでは、次の委員の方をお願いします。

### ○委員

11月の見学会に参加させていただきましたので、その感想ということで、水力発電所を初めて見学しました。写真では見せていただい

たのですが、写真だけではなかなか分からないところがあって、その規模であるとか仕組みであるとかっていうところがよく分かって、今回は本当に貴重な体験をさせていただいたと思います。見学された方は多くないと思いますので、たくさんの方に見ていただきたいと思いました。

#### ○委員長

ありがとうございました。次の委員の方をお願いします。

#### ○委員

今の企業局の取組として広報に力を入れているということですが、そもそも県民にとって企業局とは一体何をしているのかということがぴんときないんですね。県企業局って言われても何をやっているところなのか分からない。実際には、公共と民間との中間的な仕事をやっておりますね。公共性を帯びながら収益を上げていくと。そういったパブリックとプライベートの中間的な仕事をされているのですが、相手が水道ですと、受水団体の市町村だったり、工業団地の工場であったり、電力は電力会社だったり、言わば、直接消費者とはフェイスツーフェイスの関係にないわけですね。だから、供給者の企業局と県民との間に1つのクッションがあって、直接、企業局と県民というのは接点がないんですね。それが企業局というのが分かりにくいということになっていると思います。

それで、これは構造的な問題なので、ここでどうこうということはいけません。1つの広報の切り口としては、先ほど御指摘があったんですが、SDGsですね。企業局は水力とか風力発電とか、そういったSDGsに絡む事業をやっているんで、今SDGsといたら時代の潮流に乗っていますので、企業局とSDGsの関係性の深さ、ここに注目した広報なり、それからSDGsを意識した広報戦略を考えてみてはいかがかと思います。そうならば県民にも伝わりやすいというふうに思っています。

## ○委員長

ありがとうございます。とても貴重な御意見ありがとうございます。

ぜひこういった広報・PRに大学生の皆さんが参加をしたり、それから、今日の説明いろいろお聞きしたときに、課題等も説明していただいて、それがまた大学の授業などに非常に有効だなと私は今聞いて思いました。それをどう解決するかっていうのを県の皆さんと考えるなんていうのも一つあっていいかなというふうに感じました。とてもいい意見を皆さんいただきまして、本当にありがとうございます。

脱炭素社会を、委員さんからもそのSDGsの話がありましたけれども、これは企業局の今日の経営計画とも非常に関連した部分がありますし、それから、江津工業団地の新しいところの開拓、それから、企業を呼び込んでくるという勢いも今日説明で聞きまして、これは江津市とまたさらに盛り上げていただけるなという明るいお話もいただきました。

それから、今日の資料見ただけでも、相当以前の資料とは格段に進歩していただいて、本当に分かりやすく説明しようという意欲の表れで、最後は動画まで見せていただきまして、本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

そうしますと、企業局におかれましては、委員の御意見について十分に御検討の上、今後の企業局の業務運営に生かしていただきたいと思えます。

そろそろ時間参りましたので、本日の議事を終了したいと思います。委員の皆様方には、議事進行に御協力いただきありがとうございます。以上でございます。